

P-1 小児歯科医院での気配り

○田口共子、西口君子、市山和美、
増田純一

マスダ小児歯科医院・福岡市

小児歯科における子どもの取り扱い、ユニットの上だけで論ぜられる事が多いようです。たとえば、Tell show do, Hand over mouth technic などが挙げられます。

しかし、子ども達の取り扱いを成功させるためにはそれだけでなく、診療室での気配りがとても重要です。不安を持ち治療に来る子ども達に対して、診療室の雰囲気や治療器具は怖くないのだという安心感を持たせ、すべての治療が終わりリコールに入る時には、子ども達に“お口の中がきれいになってよかった”という気持ちと、お口の中の健康観を認識させ、次の検診には何の不安もなく来院できるようにさせることが大切だと思います。

私達はその気配りを、挨拶・気配り・迎合・余韻という4つの項目に分けてみました。

そこで、私達の小児歯科医院での挨拶・気配り・迎合・余韻について、各々、どのような事柄が考えられるのか、具体的に事例を挙げて説明したいと思います。

日々、診療の中で子ども達に接しながら、挨拶・気配り・迎合・余韻に努めておりますが、まだまだ至らない点が多いと思います。お気付きの点がありましたら、良いアドバイスをお願いします。

P-2 T.V.リラクゼーションの実際

○河野 裕

敷戸小児歯科・大分市

痛みには、肉体的側面と精神的側面がある。子供の歯科治療に伴う痛みは、精神的側面がしめる割合が大きい。そのため歯科治療に伴うわずかな不快感は、精神的苦痛に増幅され、患者を苦しめることになる。小児患者の歯科治療に対する不安や恐怖は歯科診療室という未知な環境と、治療に伴う痛み、器具・器材に対する恐怖感である。そこで当院では小児患者の不安・恐怖を少しでも取り除こうと、日常生活的環境にちかづけるため日常生活にもっとも浸透しているT.V.を用い、待合室はもちろんのこと診療台の天井にもテレビを取り付け、子供達が興味を示すプログラムを流すことを試みた。今回当院における患者のT.V.リラクゼーションの実際について報告する。